

農業の活性化を図るには 具体的な施策が必要



宮 蘭 博 香 議員

Q 当町の基幹産業は農業であり、農業に元気がなくなつた場合には、町全体として活気がなくなつてしまいます。現在、農業従事者は高齢化の一途をたどり、農家数も減少傾向にあります。しかしながら、一方では農業で生計を立てている農家もいます。今後は、それらの農家が活性化するように具体的な施策を行うことが必要と思います。そのためには、農業振興会などと懇談会等を行い、農業者のニーズ等を的確に捉えることが必要と思われませんが、町当局のお考えをお伺いします。

A 農産物の価格低迷や担い手の不足など課題は多くありますが、町の基幹産業である農業の維持・発展にしっかりと取り組んでいきます。

Q 針灸・マッサージ助成券の縮小についてですが、平成29年度75歳以上の助成券延べ利用人数は1,799人、平成30年度の利用人数は2,192人で393人伸びています。しかしながら、今年度から月2枚利用できていたものを1枚にしてしまいました。この影響額は年間100万円程度になるものと思えます。利用度の上がつているものをなぜ縮小したのか、お伺いします。

Q 横芝小学校は昭和39年に西側校舎の一部を2階建て鉄筋コンクリート建築をしたことを皮切りに48年までの間に5回にわたり建て増して建築しました。新校舎についても、昭和53年と55年に建築されたものです。このように、つなぎだらけの校舎になり、本校舎経過年数は古いところでも56年、平均でも48年が経過しています。このような状況から子どもたちの教育環境を踏まえると抜本的

A 健康の保持及び増進や介護予防並びに現在の利用状況を勘案した結果、助成枚数を削減して事業を継続することにしました。

横芝小学校の改築は急務を要する

A 成田財特法の規定により横芝小学校改築事業が盛り込まれましたので、新校舎等の配置を検討するための基礎調査を実施する予定です。また、現在は横芝小学校改築に係る検討委員会の設立準備を進めているところです。

な改修を視野に入れ検討していただきたい旨、前町議会議員総意によりお願いしているところでありましたが、どのような状況になっているのか、お伺いします。

な改修を視野に入れ検討していただきたい旨、前町議会議員総意によりお願いしているところでありましたが、どのような状況になっているのか、お伺いします。

な改修を視野に入れ検討していただきたい旨、前町議会議員総意によりお願いしているところでありましたが、どのような状況になっているのか、お伺いします。

※その他の質問

- ・いじめ対策について
- ・働き方改革に伴う中学校部活動等への対応について
- ・給食費無償化に伴う子ども子育て支援策の整合性について
- ・計画行政の推進について
- ・農業後継者確保対策について



横芝小学校校舎



森川貴恵 議員

通学路・保育園等の 散歩コースの安全確保を

保育中の安全確保について 町内保育所・こども園へ周知徹底を図る

Q 通学路の危険個所の認識は

A 「横芝光町通学路交通安全プログラム」に基づき、通学路の点検をしています。今年度は、光地域の小中学校から危険又は要注意箇所として報告のあった21箇所について点検を予定しています。

Q ガードポール等での保護が考えられる場所は

A ガードポールについては、これまでの合同点検の対策必要個所の検討結果により設置された実績もあることから、より一層の設置の推進を道路管理者及び山武警察署からの技術的な助言を得ながら検討していきます。

Q 保育園の散歩コースについての安全確認は。光中央幼稚園前の県道109号

線的安全確保が気になるが。過日の滋賀県大津市の事故を受け国及び県から、日常的に利用する散歩の経路等について異常や危険性の有無、工事箇所や交通量等を把握し、職員間で情報共有を行うなど、保育中の安全確保に一層努めるよう通知があり、町内の保育所及びこども園へ周知徹底をしました。

Q 健康友の会のウォーキングコースの安全確保は

A 高齢者の安全確保については、福祉課で行っている各種教室等で周知を図っていきます。また、社会福祉協議会を通じて福祉会等、高齢者の集まる場において注意喚起をしていきます。

Q 高齢者の移動確保として乗り合いタクシー・町内循環バスの充実の検討を

A 人口減少・高齢化社会にふさわしい公共交通の在り方を検討し、利

Q 本町交差点・上町三差路の安全確保に右折ライン拡充はできないか

A 本町交差点の右折ラインの重要性は認識しています。平成30年3月に国道及び県道の管理者で

Q 免許返納の際の特典は

A 「運転経歴証明書」の提示により乗り合いタクシーは、一般利用料金300円に対して半額の150円、町内循環バスは一般料金100円に対して半額の50円で利用可能です。この他、路線バス、鉄道、タクシー等の公共交通機関の乗車運賃割引など、様々な優遇措置や特典があります。

Q 外部委託指導員の確保は

A 当町の各小中学校は、学習指導要領移行期間の措置として昨年度はALT4名で、3・4年生は週1時間、5・6年生は外国語として週2時間の外国語活動を行ってきました。今年度は更なる充実を図るために英語科教員OB・OGを中心に日本人補助講師5名で3・4年生は外国語活動で週1時間、5・6年生は外国語として週2時間の指導を推進し、1・2年生は教育課程外で週1時間外国語遊びを実施しています。なお、本年度小学校にALT配置はありません。

Q 小学校外国語活動でALT・補助講師等

ある千葉県山武土木事務所長に交差点改良の要望を行いました。今後も引き続き要望を行います。上町三差路についても要望していきます。

成田空港機能強化に関する

今後の町づくり

人口を取り込む為の施策を検討



秋鹿幹夫 議員

Q 雇用拡大に伴う人口増加を取り込む施策について、どの様に考えているのか。

成田空港行きバスの運行開始により成田空港周辺へのアクセスを向上させたいと考えております。

A 成田空港の更なる機能強化が実現することにより空港内従業者だけでも現在の4.3万人から7万人へ増加すると言われています。これにより町内在住者の雇用場所の拡大が図られ、また、空港隣接である立地を活かし新規定住者の転入やUJターンが期待できる機会と捉えております。

また、その他子育てサポートや教育環境の充実、定住施策など新規定住者の取り込みに向けた特色ある施策について関係課において検討を進めております。

これらの『人口を取り込む』ための施策を検討する一方、当町では成田空港の更なる機能強化に伴い、騒音区域が拡大されることから、現在住んでいる町民の方々が引き続き当町に住んでいただくための施策も大変重要であると認識しています。そのため、騒音区域

における固定資産税軽減のための補助金及び防音家屋に設置されたエアコン維持管理に係る補助金の制度拡充といった騒音対策の更なる充実、横芝駅のエレベーター設置といった駅利用者への利便性の向上、空港関連企業への就職支援など、『人口維持』のための施策にも傾注していきたいと考えております。

A 当町を多言語により紹介するため、英語、中国語、韓国語に対応した外国語版の観光リーフレットを作成し、役場総合窓口や横芝駅前情報交流館「ヨリドコロ」などに設置してまいります。

また、外国人観光客誘致のための公衆無線LAN環境整備事業により無料WiFiをヨリドコロに整備し、町内で営業されている外国人向け宿泊事業者等にPRするなど、有効に活用しております。

町では、引き続き国・県・空港会社と密な連携を図り、『騒音に負けないまちづくり』の実現に向けた取り組みを行ってまいります。

一般社団法人横芝光町観光まちづくり協会では、千葉県観光誘致促進課と連携して、アジア圏からの外国

人修学旅行生の受入れを積極的に行っており、これまで、7件・212人の外国人修学旅行生などを受入れ、ホストファミリーにご協力をいただき、ホームステイによる町民との触れ合い体験を実施しております。

現在のところ、当町では、外国人観光客の増加が著しい状況にはございませんが、観光や宿泊事業者との連携を更に深め、官民一体と推進してまいりたいと考えております。

この機会を活かすためには、成田空港へ直結する幹線道路の整備促進、年間を通じた横芝駅を起点とする

Q インバウンド（外国人観光客）を取り込む施策の進捗状況は

一般社団法人横芝光町観光まちづくり協会では、千葉県観光誘致促進課と連携して、アジア圏からの外国



▲横芝駅前情報交流館「ヨリドコロ」

文化財の適正管理と有効活用を

図書館の町民ギャラリーで 一般公開を図る



山崎 義貞 議員



**旧行政センター
(旧横芝町役場)**

には、旧石器時代から縄文時代の遺跡品から、中世・近世の文化財も多く保管されています。旧行政センターは雨漏りするような状況になっていきます。貴重な文化財が損なわれないように、廃校後の大総小学校へ移し保管環境を整え、常設展示などの有効活用を図ることが良いのではと考えます。

文化財を学校教育にも活用し、郷土文化の学習利用の推進を図ることも必要と考えます。



大総小学校の閉校後の利活用について、地域の実情を踏まえ、活性化に寄与する施設として民間事業者等を誘致することにより、有効的活用を目指しております。

大総小学校の閉校後の利活用について、地域の実情を踏まえ、活性化に寄与する施設として民間事業者等を誘致することにより、有効的活用を目指しております。

す。今月中には、大総小学校跡地活用事業に係る企画提案の公募を実施する予定となっております。民間事業者等による利活用の中で、文化財保護・活用の可能性についても、検討してまいります。

当町の指定文化財は、国指定が2件、県指定が6件、町指定が33件となっております。旧行政センターに保管されている指定文化財は、平成10年指定の海保漁村著書、平成30年指定の遠山天ノ作遺跡、東長山野遺跡、小川台古墳群、篠本城跡から出土したものの5件となっております。海保漁村著書を除いて、指定して間もないことから今後各学校が必要とする文化財を検討し、順次指導計画に盛り込まれることになると考えています。

当町の指定文化財は、国指定が2件、県指定が6件、町指定が33件となっております。旧行政センターに保管されている指定文化財は、平成10年指定の海保漁村著書、平成30年指定の遠山天ノ作遺跡、東長山野遺跡、小川台古墳群、篠本城跡から出土したものの5件となっております。海保漁村著書を除いて、指定して間もないことから今後各学校が必要とする文化財を検討し、順次指導計画に盛り込まれることになると考えています。



国保法44条は「特別な理由があるとき、医療費の一部負担金を免除・減額できる」とされてお

国保法44条は「特別な理由があるとき、医療費の一部負担金を免除・減額できる」とされてお



〈横芝光町文化財マップ〉



り、多くの町民がこの制度があることを知ってもらい、必要があります。周知に關してはどのようにしていき



当町では、「横芝光町国民健康保険一部負担金の減免及び徴収猶予取り扱い要綱」において、減免及び徴収猶予に関する

当町では、「横芝光町国民健康保険一部負担金の減免及び徴収猶予取り扱い要綱」において、減免及び徴収猶予に関する

必要事項を定め平成23年4月1日に施行しています。この減免制度の対象となる要件や申請方法をホームページに掲載しているほか、毎年11月の「ちは国保月間」に町広報紙を使い国保制度のしくみ等をお知らせしているなかでも説明してまいります。

地域包括支援センターは社会福祉法人に業務委託をしています。地域支援サービス事業の充実を考えたときには、町が直接運営する方が地域と密着できることに繋がるのではと考えますが。



地域包括支援センターは、当町における包括ケアシステムの深化・推進により一層の対応をす



地域包括支援センターは、当町における包括ケアシステムの深化・推進により一層の対応をす

地域包括支援センターは、当町における包括ケアシステムの深化・推進により一層の対応をす

一般質問

役場における

パスポートの手続きを

パスポート窓口を開設したい



川島 富士子 議員

Q 役場におけるパスポートの手続きを

A 旅券（パスポート）事務は、中央旅券事務所、地域振興事務所及び千葉県から権限移譲を受けた自治体で行っています。

平成16年の旅券法改正により、平成18年3月20日から市町村窓口で旅券（パスポート）の申請・交付を行うことが可能となり、現在26の市町で申請・交付を行っています。住民課窓口でパスポートの手続きを行うことは、戸籍謄抄本の取得と旅券の申請・交付が同一で済み、町民の利便性が向上し町民サービスに繋がることから、旅券の申請・交付事務の開始に向けて、

Q 千葉県と協議を進め、準備が整い次第パスポート窓口を開設したいと考えております。

A ドナー助成制度の導入を

ドナー支援制度は、千葉県が平成29年8月に、骨髄等を提供したドナー本人やそのドナーに骨髄移植時の入院等のためドナー休暇を付与した事業所に対して市町村が助成した場合に、その2分の1を補助する制度を制定しました。県内では平成31年3月末現在で21市町において助成制度が制定されており、更に12市町が今年度中に新たに制度化する予定です。町も、制度化を目指してまいります。

Q 横芝小学校区・スーパーカスミ付近踏切の安全対策を

A 下の通学路の安全対策を

スーパーカスミ付近踏切下の町道は、横芝小学校の通学路で、安全対策強化エリアのスクールゾーンです。平成26年度から実施している通学路の合同点検で、危険箇所として抽出されており、対策として白線の引き直しや、児童への交通安全教育の徹底等の措置が講じられたところですが、依然として危険箇所であることから、横芝中学校において実施されたスクールゾーンの標示板設置事例等を参考に、スクー

ルゾーンの安全性確保を図るため、通学時間帯の通行自粛をお願いする標示板等の設置の対策を進めてまいります。



▲下町踏切（スーパーカスミ付近）

Q 横芝駅鉄道利用における高齢者や障がい者等のアクセシビリティの実現に向けた取り組みを

A 横芝駅については、高齢者や障がいの方を含めて誰もが利用しやすいようにするため、従

来からJR東日本に対して要望活動を行っておりますが、横芝駅では下り銚子方面の電車が1番線ホーム（駅舎側）へ入線することとは、信号通信設備が整備されていないことから出来ないとJR東日本から伺っています。本年4月にJR東日本千葉支社長へ横芝駅のバリアフリー化や発着便の増加などを要望しました。その際、JR東日本千葉支社長から、バリアフリー化（エレベーターの設置）については、国・町の費用負担等の協力を前提に検討を進めるとの回答をいただきました。今後も早期実現に向け最大限努力してまいります。

※その他の質問

- ・ 障害者手帳のカード型導入について
- ・ 健康ポイント事業の導入について
- ・ 北清水東区交差点における安全対策について
- ・ 自転車保険の加入促進について